

2026
8

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞) ~こどもたちに交通安全を呼びかける部門

いのちはね ゲームみたいに もどらない



第54回交通安全子ども自転車神奈川県大会の開催
(7月4日(土) 寒川総合体育館)



**三輪車、横断歩行者
高齢者による交通死亡事故多発!**

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!



ホームページ



X公式アカウント

●県内の交通事故発生概況(令和8年7月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和8年		12,203	77	14,063
令和7年		11,865	75	13,667
増減数		+338	+2	+396
増減率		+2.8%	+2.7%	+2.9%

●県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,198,364	4,552,123	4,646,241
免許人口	5,672,682	3,204,038	2,468,644
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和8年7月1日、免許人口は令和8年6月末現在)

夏の交通事故防止運動結果

7月11日(土)から20日(月)までの10日間、県内各地区で「夏の交通事故防止運動」を実施しました。

本運動中の交通事故の状況につきましては、昨年の同時期と比べて、交通事故の発生件数、死者数及び負傷者数はいずれも減少となりました。

◆ 期間中の県内の交通事故発生概況

	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中累計	549	1	642
前年同期比	-18	-1	-6

◆ 期間中計上の交通死亡事故

7月19日(日) 横浜市南区(市道)
普通貨物車が道路横断中の幼児(死者
3歳 男性)を轢過

各地区交通安全協会では管内の交通事故の発生状況に応じた交通安全キャンペーン等を実施して交通事故防止を呼びかけました。



相模原南交通安全協会
東林間駅前におけるキャンペーン



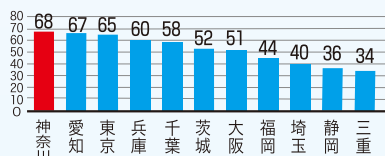
栄交通安全協会
大船駅笠間口におけるキャンペーン



(一財)麻生交通安全協会
新百合ヶ丘駅前におけるキャンペーン

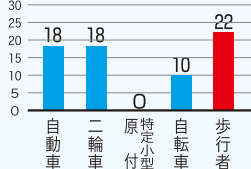
令和8年上半期の交通死亡事故の発生実態と傾向(速報値)

◆ 全国死者順位



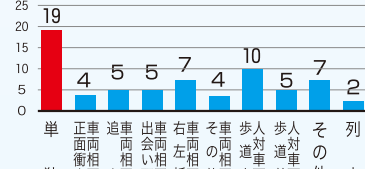
神奈川県は68人死亡で全国ワースト1位

◆ 状態別



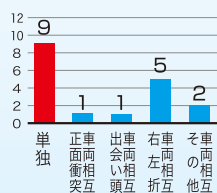
状態別では歩行者が最も多い

◆ 類型別



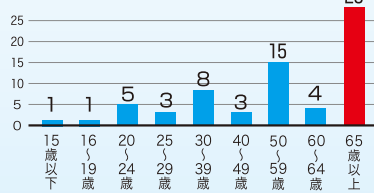
類型別では単独事故が最も多い

◆ 二輪車類型別



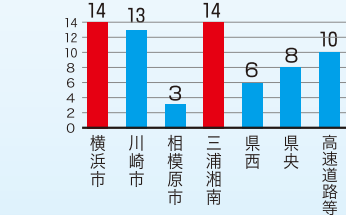
二輪車類型別でも単独事故が最も多い

◆ 年齢層別



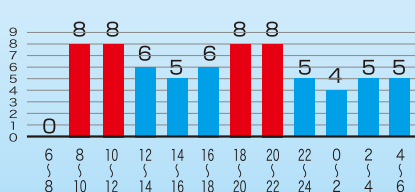
年齢層別では65歳以上の高齢者が最も多い

◆ 地域別



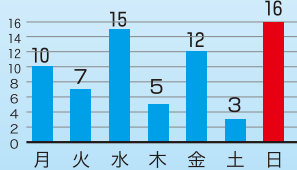
地域別では横浜市内・三浦湘南での事故が多い

◆ 時間帯別



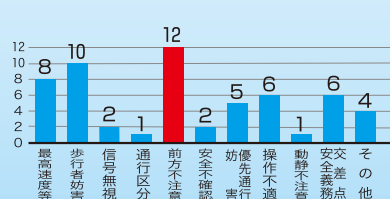
時間帯別では8時~12時、18時~22時の発生が多い

◆ 曜日別



曜日別では日曜日の発生が最も多い

◆ 原因別



原因別では前方不注意による発生が最も多い

一般原付以上の運転者が第一当事者となった死亡事故57件の内訳

第54回交通安全こども自転車神奈川県大会の開催

7月4日(土)寒川総合体育館に於いて、「第54回交通安全こども自転車神奈川県大会」が開催されました。
優勝は厚木市立清水小学校 A チームで、8月10日(月)東京ビッグサイトで開催される「第58回交通安全こども自転車全国大会」に神奈川県代表として出場します。



神奈川県警察
加藤交通部長挨拶



優勝した厚木市立 清水小学校 (厚木警察署管内交通安全協会)



(公財)神奈川県交通安全協会
小島専務理事挨拶



優勝旗の授与



全国大会出場旗の授与



交通安全母の会
五反田会長
安全走行スタート



厚木市立 清水小学校 B チーム



優勝
清水小学校 A チーム



厚木市立 清水小学校 C チーム



(一財)茅ヶ崎地区
交通安全協会
佐藤会長
技能走行スタート

出場チームの紹介



第2位
横浜市立八景小学校 B チーム



第3位
横浜市立鶴ヶ峰小学校 A チーム



横浜市立鶴ヶ峰小学校 B チーム



横浜市立八景小学校 A チーム



川崎市立旭町小学校チーム



伊勢原市立石田小学校 A チーム



伊勢原市立石田小学校 B チーム

実技の技能走行テストの様子



〔デコボコ道走行〕



〔遅のり走行〕



〔スラローム走行〕



〔S 字走行〕



〔2 枚の板のり走行〕

